

「青少年健全育成講演会」の報告

船橋市青少年の環境良くする市民の会 執行部

2月9日(金)中央公民館講堂にて、毎年恒例の船橋市自治会連合協議会・青少年教育部会との共催となる青少年健全育成講演会が、船橋市長・松戸 徹様を講師にお迎えして開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4年ぶりの開催となります。時代の流れと申しますか、保護者の学校への関わり方が変化している中、我々市民の会としても運営について色々と模索しておりますが、今回の講演会を企画するにあたり、やはりまずは市長の子供たちへの想いを伺ってはどうかという意見が挙がりました。



皆さんも同じ考えをお持ちだったようで、当日は169名と

多くの皆さまにお集まりを頂きました。

まず市長は、このたび年始めに発生してしまった能登地方の地震災害について、船橋市からの派遣状況について報告され、亡くなられた方への鎮魂と一刻も早い復興を祈られました。また万一の際に備えて一人あたり一日水3リットルが必要のため、2リットル入りのペットボトル6本(4日分)を用意することを周りの皆さんと共有してくださいと準備を求めました。我々も被災地への支援、よそ事では無いという心構えで備えなければならぬと思いました。

次に船橋市とは、どういった町なのかという説明がありました。ここからは市長のお話しを要約する形でご報告させて頂きます。

『千葉県としてのベイエリアを見ると、ちょうど船橋は扇の要の位置にあり、成田空港まで電車で50分、羽田でも大体1時間ぐらい、東京駅までで25分程、いろいろなところに移動する際に非常に便利な街であり、3年後には市制90周

年を迎える歴史があります。人口は、64万8千人を超えて、ほぼ島根県の人口と同じとなっています。年齢に目を向けますと、全国から比べれば高齢化率は低いですが、65歳以上の方が15万人を超え、75歳以上の方が9万人を超えています。また10万人ぐらいの方が高齢者だけで生活をしておられます。

なぜ高齢者に詳しく触れたかというと、市長として子供たちと話をすると、子供たちは高齢者の皆さんをとてよく見えています。社会がこれまで頑張ってきた高齢者の方たちをどのようにして介護していくかというのを子供たちは見ているわけです。スクールガードなどでお世話になっていますが、声をかけてもらって元気な姿を見ていると、やはり地元のおじいちゃん、おばあちゃんも大好きですし、そういう形で高齢者と子供たちというのは別々に考えていい存在ではないと考えております。

そしてもう一つ、これは子供たちも含めてですけれども、今、多くの外国人の方がお住まいです。文化の違いとか、ごみの出し方とか、それぞれの地域でいろいろ困ったというような声も聞きます。ただ、これはやはり大切に接して

いく必要があると思います。なぜかというところ、この人たち、永住しているわけではなく、必ず国にお帰りになります。そのときに日本にいて、どこに住んで、どんなところだったというときに「とても温かくて優しくかったです。とてもいい町だった」と言ってもらえることが、これから世界的・国際的になり、子供たちがいろいろな大人になって活動したときに「いい町だったよ。ありがとう」と言われたら子供たちがプラスの状態からスタートできます。それぞれの国の人たちと連携をしていくこととしてそういった声をやはり育てていかなければいけないと思っています。

子供たちの可能性について、優秀な子たちの話ばかりしてしまいがちですが、実は一番大事なことは、普通の子供たちが自分に向いていること、例えば算数は苦手だけれども、ケーキをつくるのは大好きだとか、大工さんになりたいとか、プロサッカー選手になりたいとか、科学者になりたいとか、あとはユーチューバーをやりたいとか、とにかくみんな子供の時とていろいろなことを想いな

がら日々育っていつていると思えます。その想いを今、私たち大人がどうやって子供たちのことを評価をして取り組んでいるか、今日お集まりの皆さんですとか、普段いろいろなことをやっていたいでいる皆さんの想いが、子供たちを次のステップに進める力になっていると私は確信をしています。

今、市の方ではどういった取り組みをしているのかということですが、実は学校の先生のことを副市長の時にいろいろ話をしている、先生方の悩み・子供たちの悩み・保護者の悩み、これを日常的に相談する場所がないということがありました。当時はまだまだ全国的にも置いていなかったんですが、市長になってスクールカウンセラーを全小学校全校に配置しました。県の方では中学校に配置をしていたんですけれども、小学校には対象としていなかったんですね。でも、実は小学生たちの悩みも非常に多くなっていて、先生方も、例えば不登校のときに子供たちの気持ちをどう捉えていいのか相談する相手が、学校の中でも教員としての相談相手はいるんですけども、心理的な相談をする相手がいないとか、逆に子供たちは

どうしていいかわからないとかというのをスクールカウンセラーに受け皿となって頂いています。

船橋市のスクールカウンセラー、これは全部市独自に配置をしていますが、これは是非覚えておいてください。次に会ったら言葉をかけていただきたいのは教育長なんです。このときにスクールカウンセラーを全校配置する、当時は55校ありますので、55人のスクールカウンセラーを確保する。もの凄く大変で、ほかの自治体がいくつかやっていたのは、有資格者ではない、少し学校経験があるという人をカウンセラーとして配置をしているところはあったんですけども、臨床心理士とか児童心理士とか、そういった資格を持った人をそろえるのはとても大変じゃないかって。当時、指導課長だった現在の松本教育長は、これは有資格者じゃないと置く意味がありません。そうして本当に集めてくれましたので、教育長に会ったときにスクールカウンセラーを生んでくれたんだそうですねと声をかけていただけると、教育長のモチベーションはすごく上がると思いますので、よろしくお願ひします。社会がどのように育てるかによ

り、育てたように子供たちは変化をして大人になるんじゃないか、そんな気もしています。皆さんと力を合わせて、子供たちの笑顔がもっともっと見られるように取り組んでいきたいと思っております、これからもよろしくお願ひします。』

限られた紙面では、市長にお話し頂いたほんの一部しか紹介できませんでしたが、子供たち・それを支える地域の皆さん・船橋市の住民・船橋市のために働いて頂いている皆さんへの想い、そしてアイデアと行動力を会場の皆さんは受け取ったと思います。市民の会も微力ながら、子供たちの健全育成に力を注いで参ります。ご参加ありがとうございました。

地区市民の会より

習志野台地区 青少年の環境を
良くする市民の会

令和5年12月10日、船橋市習志野台公民館でふれあいチャリティコンサートが開催されました。フルート演奏・河野 彬さん、ピアノ演奏・高橋ドレミさんによるデュオリサイタルと習志野台第

二小学校器楽クラブの演奏がありました。今回で13回目のコンサートではコロナ禍が明け、4年ぶりの入場制限なしの開催となり、スタッフと観客合わせて約300人が来場しました。寄付金が5万3千10円集まり、東日本大震災あしなが育英基金に寄付されます。

演奏は素晴らしく、その美しい音色に観客の盛大な拍手が会場に響き渡りました。最後は『さんぽ』をフルート・ピアノ・器楽の合奏で、会場の皆さまと合唱し、プログラムを締めくくりました。

久しぶりにゆったりと生演奏を楽しめた日となりました。



「いわきを訪ねて」

御滝中学校区青少年の環境を良くする市民の会事務局長 丸山 磨理

令和5年10月5日、青少年の環境を良くする市民の会・自治会連合協議会青少年教育部会合同視察研修で東日本大震災の被災地いわきを訪ねました。

市民の会 早川会長、自連協青少年教育部 加瀬部会長、また市役所青少年課 池田様・美野様、自治振興課 石原様・菊池様もご参加くださり、総勢28名での視察研修でした。

いわき市までは距離があるため早朝に出発し、まずは小名浜の「ら・ら・ミュー」に立ち寄り、「ら・ら・ミュー」は1階部分が津波で壊滅状態になり11ヶ月後に復旧されました。中には震災時のパネルや実際の避難所の様子がそのまま展示されており、津波被害の大きさに息をのみました。

そのあとは「いわき震災伝承みらい館」へ。海岸のすぐそばにある元は中学校の敷地で、被災した中学校を山間部に移した跡地に建てられています。修復された奇跡のピアノや卒業式当日に被災した中学校の黒板や机の展示、津波の映像、展望デッキでは塩屋岬や中

学校の建物があった為に津波の被害を免れた家もあるなどの説明がありました。

その後は語り部の大河部さんがバスに同乗され、お話を伺いました。当日にご本人は車で出かけており急いで家に帰ろうとしたところ、津波のがれきで道路が通れずに車を置いて山を歩いて避難所まで行かれた事や、近くの山を崩し土砂は堤防に利用し宅地や防災公園にした場所も案内してくださいました。防災公園には発電機・テントの設備が備えられたベンチ・防災井戸・マンホールトイレなどがあり、どこの公園にもこのような設備あれば安心だと思います。『平時の人間関係が大切』で

きる備えは自分でしておく』とおっしゃっており改めて普段の心がけが大事だと再確認しました。東日本大震災から12年が過ぎて忘れかけていた災害の恐ろしさを思い出し、できる限りの備えをしようと思わせてくれた視察研修でした。

この視察研修に御尽力くださった皆様に御礼申し上げます。

「金杉小学校における防災教育」

船橋市立金杉小学校校長 目良 昭光

小学校では、4年生の社会科で、地震から暮らしを守るために家庭と学校、それに市と地域がそれぞれ取り組んでいることを学習します。家庭では、食料などの必要な物を用意していること。学校では、避難訓練をし、備蓄庫を備えていること。市ではハザードマップを発行し、関係機関との協力体制を整えていること。地域では防災訓練を行っていることなどです。

更に本校では、隣の金杉小学校の4年生と合同で、1000カ所ミニ集会として、船橋市危機管理監の方を招いて、「大地震に備えて今やるべきこと」を講演していただきました。

また、全校児童に対して体験学習も行っています。引き渡し訓練は、大規模な災害が発生し、児童だけの帰宅が困難になった場合を想定して行います。まず、「上から落ちてくる物がないか注意しながら歩く」「ブロック塀から離れて歩く」など下校時の身の守り方について考えさせます。その後、実際に保護者に来校していただき、引き渡しを行います。避難訓練は、

地震の後、火災が発生した場合を想定して行います。校内放送から流れる地震音を合図に、机の下に入るなど、身を守る姿勢をとりまします。そして火災発生のお知らせで外に避難をします。更に関係機関の協力を得て、煙中、起震車、救助袋の体験もします。

その他には、9月の全校朝会で、防災週間に合わせ過去に起こった大きな地震や身を守る方法について説明し、校内の備蓄庫に備えている備蓄品や、屋上に設置されている太陽光発電機器についても紹介しています。

小学校は、自分の身を守ることを中心に学習し、中学生になったり地域の方と共に関わることができるように防災意識を高めています。



「第56回船橋市少年少女交歓大会」

船橋市少年少女団体連絡協議会

令和5年10月29日、船橋市運動公園での実施は4年ぶりとなる少年少女交歓大会が開催されました。今回のテーマは「幸せつなごうはばたけ未来!」です。

この日のために実行委員会を構成する当会や青少年相談員連絡協議会、船橋市や教育委員会等が丸となり、テーマのように様々な体験を通じて子供たちが楽しみながら交流できるように検討を重ねてきました。

大会当日は陸上競技場にて開会式を予定していたところ、突然の降雨により急遽、体育館へ会場を変更いたしました。各団体の協力により大きな混乱もなく挙



フライングディスクを楽しむ親子

行することが出来ました。また、開会式後の〇×クイズでは難問珍問が飛び出す中、見事最後まで正解した子供たちは景品の船えもんグッズを受け取り喜んでいました。

その後はさわやかな秋晴れとなり、二宮中学校吹奏楽部の迫力ある演奏を皮切りにリアル野球盤や、壁のぼり、だるま落とし、体育館での軽スポーツなど趣向をこらした企画が予定通り行われ、子供たちの笑顔や歓声の絶えない一日となりました。

また、久しぶりの実施となった模擬店では家族連れや子供たちで賑わいを見せていました。

こうして第56回船橋市少年少女交歓大会は無事に幕を閉じましたが天候や開催時期の違いの影響等もあり、来場者の数はコロナ禍前の水準には達しませんでした。

次回は例年の5月開催となり準備期間は短くなりますが、今大会で見えた集客面での課題等を整理・改善し、「子供たちの交流を通じた青少年の健全育成」に繋がるような魅力ある交歓大会を開催していきたいと考えております。

「船橋地区保護司会の活動」

船橋地区保護司会

船橋地区更生保護サポートセンターを開設して8年が経ち、当会の更生保護活動拠点として保護司の負担軽減と事務局の資料及び資材など一か所に集約することができ、ご支援、ご協力頂く関係機関、各団体各位に感謝を申し上げます。令和6年3月には85名の体制にて活動予定です。平成14年以降は全国的にも刑法犯認知件数は年々減少傾向でしたが、初犯者数は減少しています。但し、再犯者は上昇傾向で令和3年には48%を超えております。令和5年8月1日現在の船橋地区保護司会担当の事件数報告と活動状況は、

(1)保護観察対象者84件。生活環境調整(刑務所・少年院)107件で入所中、入院中の対象者と引受人(家族、近親者)と地域社会への一員として更生する協力をしていきます。但し、コロナ禍の中で孤立や生活困窮に陥り再び犯罪、薬物に手を染める連鎖を歯止めになればと再犯防止に努めています。

(2)社会を明るくする運動は、第73回の全国展開で7月が強調月間「犯罪に陥った人たちを地域のチカラ



内閣総理大臣メッセージ伝達とパネル展示会(ぬり絵・市内保育園児194点)

で立ち直り」そして再犯防止月間、薬物乱用防止の啓発活動として各市町村の首長を推進委員会の委員長に迎えて「内閣総理大臣のメッセージ」伝達式、講演会・音楽の集い等が開催されました。船橋市でも、市役所1階ロビーで非接触型事業のパネル展示会・ぬり絵展示会を開催しました。又、恒例の全国作文コンテストのため「社会を明るくする運動」をテーマに小中学校への依頼を行っています。が、年々応募数が増えています。(小中学校55校・応募作品1200点)

(3)今後、啓発広報活動で作文コンテスト募集、市民まつりパレード、スポーツ大会への協力、標語の募集含む標語の優秀作品を学校の正門等に掲示することを企画中です。

「安全・安心まちづくり防犯キャンペーン」

船橋市青少年の環境を良くする市民の会 副会長 村田 佐江子

令和5年10月9日千葉県安全安心まちづくり旬間の出動式を催しました。

船橋市は、県内でも特殊詐欺の被害発生が最悪の状況で一向に減少しないため対策として、特殊詐欺防止機能付き電話設置や広報活動を展開しています。こうした中、コロナ禍で休止していた「安全安心まちづくり旬間」を再開しました。



船橋市自治会連合協議会としても「安全安心まちづくり宣言」と生活空間に広がるあらゆる犯罪根絶に向けて努力する宣言を行い、市民が警察や関係機関・団体と一体となって啓発活動を行いました。青少年の環境を良くする市民の会



も子ども達の安全安心の生活環境を守り、良くする為にと参加しました。

参加した地区は、船橋中地区・高根中地区・若松地区・習志野台地区・芝山地区・松が丘地区・二宮中地区・飯山満中地区などです。自治連や保護司会・警察補導員の皆さんと協力しての対策は、今後のひたつき・空き巣・電話de詐欺・悪質業者などに対する不安が絶えるように続けなくてはと思います。

船橋市の安全安心を守り、ふるさとと感じる環境を作りたいと思います。未来の船橋を担う青少年の為に頑張ります。

青少年の環境を良くする市民の会・参加団体名 (20団体・順不同)

- 船橋市自治会連合協議会
- 船橋市PTA連合会
- 船橋市青少年補導委員 連絡協議会
- 船橋市民生児童委員協議会
- 船橋市全婦人団体連絡会
- 船橋市社会福祉協議会
- 船橋地区保護司会
- 船橋市スポーツ推進委員 協議会
- 船橋警察署少年警察 ボランティア連絡会
- 船橋東警察署少年警察 ボランティア連絡会
- 船橋市青少年相談員 連絡協議会
- 船橋市青少年少女団体 連絡協議会
- 船橋市子ども会育成連絡会
- 船橋市商店会連合会
- 船橋 仏教 会
- 船橋市更生保護女性会
- 船橋青年会議所
- 船橋北ライオンズクラブ
- 船橋中央ライオンズクラブ
- 船橋市有価物回収協同組合

正社員バス 運転士大募集!!

入社祝金最大 **20万円**

月収30万円以上可能
安心の**正社員**採用
大型2種免許取得**支援**制度あり

KBS 京成バスシステム
〒273-0018 千葉県船橋市栄町1-10-10

採用担当 TEL 047-420-9130
平日・土曜日 9:30~17:30

ふなばし アンデルセン公園

〒274-0054 船橋市金堀町525
TEL: 047-457-6627

常時約**150種類**
約**10万株**の草花
が楽しめます。子ども
も大人ものびのび遊べる**緑豊か**
な公園です。

水のトラブル

365日・24時間緊急対応
トイレ、台所、風呂の
つまり、あふれ等

0120-36-3796
セイビコウシャ
公益社団法人 船橋市清美公社

～子ども達が健やかに成長できるよう、青少年の健全育成活動を応援しています～